



能代市の高橋誠也教育長へ贈呈



管内の小学校へ教材を寄贈

金融共済部・経済部

4月23日、食農教育・環境教育などを基本テーマとした『農業とわたしたちの暮らし』の教材本とDVDを能代市教育委員会と藤里町教育委員会に贈呈しました。

この取り組みは平成20年度に始まり、今年で12回目を数えます。教材の内容は小学校5年生児童を対象に作成され、生活を維持するために必要な「食」とこれを生み出す「農業」、「環境」と「農業」のかかわりなどについて写真やイラストを使ってわかりやすく解説しており、教材は今後、管内の小学校に配付され、社会科を中心に総合的な学習、家庭科等の授業で活用される予定となっています。

JAでは今後も食農教育活動を積極的に推進していきます。



藤里町の浅利美津子教育長へ贈呈

苗代巡回で管理指導

営農部

田植え前の育苗管理の確認や生産者からの相談に応じるため、管内3地区で苗代巡回を4月23日から5月上旬まで実施しました。

営農指導員が、生産者と共に育苗ハウスを巡回して、床土や苗の状態、温度管理等について細かく確認を行いました。巡回した営農指導員は「平年に比べて天候には恵まれているが、その分ハウス内の温度が高くなりやすい。苗焼けや徒長苗、病害等を防ぐためにも、換気等を行って適正温度管理に努めて欲しい。」と注意を呼びかけていました。

参加者からは「苗の出来が作柄にも大きく影響する。営農指導員や他生産者との意見交換は大変勉強になる。」と話してくれました。



生産者の適正管理のもとすくすく育つ苗



作付予定面積等から計算して出荷契約する生産者

令和元年産米出荷契約受付開始

営農部・経済部

4月16日より能代地区を皮切りに米出荷契約の受付がスタートしました。受付場所となる各地区集会所には、その日の仕事に区切りをつけた生産者が続々と訪れ、契約担当職員と稲作等について雑談を交えながら契約して頂きました。

米穀販売担当者は「本年度の出荷契約目標数量は24万俵。1俵でも多く契約目標数量を確保し、今後の有利販売に繋がりたい。」と意気込みます。

令和元年産米の出荷契約は、今月24日までを目途に各営農センターにて随時受け付けております。1俵でも多くのご契約をお願い致します。ご不明な点がございましたら各営農センターまでご連絡下さい。